

令和7年11月13日

件 名 防衛省及び外務省訪問について（事後）

概 要 このことについて、本日（13日）、市長等が防衛省及び外務省を訪問しましたので、概要を下記のとおりお知らせします。

記

1 防衛省への要望結果

(1) 日 時 11月13日(木) 12時10分～12時25分

(2) 場 所 防 衛 省

(3) 相 手 方 防 衛 大 臣

小泉 進次郎（こいずみ しんじろう）

(4) 訪 問 者 岩 国 市 長

福田 良彦（ふくだ よしひこ）

岩国市議会議長

片岡 勝則（かたおか かつのり）

山口県知事

村岡 嗣政（むらおか つぐまさ）

山口県議会議長

柳居 俊学（やない しゅんがく）

岩国基地問題議員連盟連絡協議会代表

榎本 利光（まきもと としみつ）

(5) 福田市長からの要望内容【概要】

- 本市は、国の安全保障政策には理解し、協力する立場であるが、激しい騒音をもたらすFCLPを岩国基地で実施することは容認できないことを、基地政策の基本的な考え方としている。
- それにもかかわらず、このたび、岩国基地でFCLPが実施されたことは誠に遺憾である。
- FCLPという訓練の必要性は理解するが、住民生活に大きな影響を与えるFCLPを、今後二度と、岩国基地において実施されることのないよう、強く要請する。

(6) 小泉防衛大臣からの回答【概要】

- 本日の要望について、皆様の御不安や、今後に向けたまちづくりについての想いについても共感するところであり、防衛省として、皆様の想い、そして声を受け止めながら、何ができるかを考えさせていただきたい。

2 外務省への要望結果

(1) 日 時 11月13日(木) 10時45分～11時10分

(2) 場 所 外 務 省

(3) 相 手 方 外務大臣政務官 英利 アルフィヤ（えり あるふいや）

(4) 訪 問 者 上記1の訪問者と同じ

次頁に続きます

(5) 福田市長からの要望内容【概要】

- 本市は、国の安全保障政策には理解し、協力する立場であるが、激しい騒音をもたらすFCLPを岩国基地で実施することは容認できないことを、基地政策の基本的な考え方としている。
- それにもかかわらず、このたび、岩国基地でFCLPが実施されたことは誠に遺憾である。
- FCLPという訓練の必要性は理解するが、住民生活に大きな影響を与えるFCLPを、今後二度と、岩国基地において実施されることのないよう、強く要請する。

(6) 英利外務大臣政務官からの回答【概要】

- 米空母艦載機着陸訓練（FCLP）は、我が国の防衛や地域における米国の抑止力・対処力の強化のため、重要な訓練であると認識している。
- 岩国市の皆様を始め、既に皆様には大変な御負担をおかけしている中、追加的な騒音を伴うFCLPは、本来であれば、硫黄島で実施すべき訓練である。しかし、硫黄島の噴火という当時の特殊な状況を踏まえ、米側から、苦渋の決断として岩国飛行場で実施せざるをえない旨の説明があった。
- 訓練期間中の騒音に対する、地元の皆様からの切実なお声や厳しい御意見を十分に認識している。政府としては、祝日にFCLPが実施されたことを含め、米側に対し、周辺住民の皆様にご与える影響が最小限となるよう、繰り返し申し入れてきた。
- 本日の御要望をしっかりと受け止め、今後の在日米軍による訓練に際して、地元の皆様への影響が最小限となるよう、外務省としても、防衛省と緊密に連携し、全力で取り組んでいく。また、馬毛島におけるFCLPの恒久的な訓練施設の早期整備にもしっかりと取り組んでいく。
- 地域振興策の実施や安心・安全対策の推進に関する御要望についても、防衛省を含む関係省庁と連携して、取り組んでいく。

担当

岩国市総合政策部基地政策課

TEL 0827-29-5024

FAX 0827-21-3572

岩国市議会事務局庶務課

TEL 0827-29-5190

FAX 0827-21-1001